

サニックスグループとは



サニックスグループの事業領域
数字で見るサニックスグループ
絵で見るサニックスグループ
サニックスグループの事業
サニックスグループの歩み

次世代へ快適な環境を 積み重ねてきた実績をベースに、 サニックスグループの挑戦は続きます。

サニックスグループの事業領域



エネルギー領域

太陽光発電システム関連サービスから電力小売事業まで。生活に欠かせない電気を、より環境に負荷をかけずに無駄なく活用するための事業を推進します。

「環境負荷の低いエネルギー」が当たり前の社会

SE

ソーラー・エンジニアリング事業
(太陽光発電製造・販売・施工)

EB

エネルギー事業
(電力小売・エネルギー事業開発)

「快適な住環境を次世代に引き継いでいく」が当たり前の社会

HS

ホーム・サニテーション事業
(戸建住宅向けサービス)

ES

エスタブリッシュメント・サニテーション事業
(法人・事業主向けサービス)

「捨てるのが当たり前の社会」

ERD

環境資源開発事業
(廃棄物リサイクル)



住環境領域

戸建住宅やビル・マンションのメンテナンスを中心に、衛生管理や災害対策をサポート。世代を超えて受け継がれる住まいを守ります。



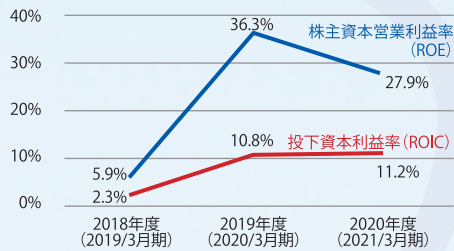
資源循環領域

廃棄物をエネルギー資源として再生・再利用するリサイクルシステムを研究開発・運営。資源循環型社会実現に貢献します。

数字で見るサニックスグループ

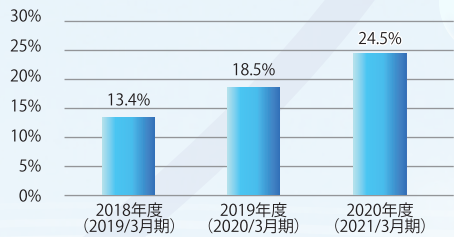
財務指標

株主資本営業利益率 (ROE)・投下資本利益率 (ROIC[※]) の推移

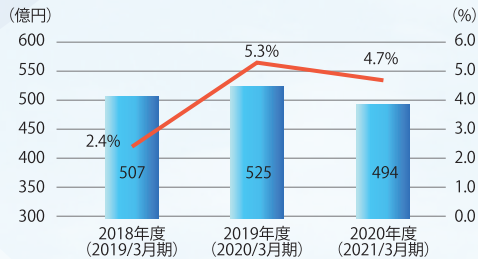


※ROIC: 税引後営業利益 ÷ (期首・期末平均株主資本 + 期首・期末平均有利子負債) × 100

自己資本比率の推移



売上高・営業利益率の推移



主な事業の累計実績 (2021年3月末現在)



シロアリ消毒施工軒数
約 **810,000** 軒



ペストコントロール施工軒数
(事業所向け害虫・害獣防除)
約 **34,000** 軒



給排水管維持管理施工件数
(防錆機器設置等)
約 **36,000** 件



太陽光発電 販売・施工件数
(自社施工分のみ)
約 **46,000** 件
太陽光発電 販売出力 (卸販売含む)
約 **1,300,000** kW



プラスチック処理量
約 **5,400,000** t

資源循環型発電

苫小牧発電所 発電量
約 **4,500,000** MWh



廃液処理量
約 **2,300,000** t

事業を通じて、SDGsの達成に貢献します。



絵で見るサニックスグループ

次世代へ快適な環境を。人が暮らし、集う場所に、サニックス。

サニックスグループは、「環境」と「エネルギー」の仕事を通じて、地球環境を守りながら、人が快適に暮らせる社会づくりに取り組んでいます。

廃プラスチックリサイクル & 発電

廃プラスチックを燃料に。
世界にも類を見ない発電所で、
CO₂フリーエネルギーを生成。

P42

各種施設の設備保全 & 衛生管理

ビル・マンションの設備保全から、
食品工場、飲食店、ホテル、病院等
の衛生管理まで、サポート。

P36

廃液の浄化 & リサイクル

国内最大級の処理施設で、廃液を
浄化処理。脱水汚泥や油分の燃料
化リサイクルも推進。

P42

太陽光発電（住宅用・事業用）

製造から販売、施工、メンテナンスまでの一貫サポートで、国内有数の設置実績。

P38

CSR でスポーツ・文化国際交流

次世代の世界平和にもつながる、ユース世代のスポーツを通じた国際交流等の実施を支援。

P60

一般住宅の維持・管理

トータルメンテナンスで、住宅の寿命を伸ばす。45年以上にわたる、シロアリ防除実績は80万軒超。

P34

電力小売 & エネルギー事業開発

電力小売から、分散型電源の普及・推進まで、多様化するエネルギー関連のニーズに応える。

P40

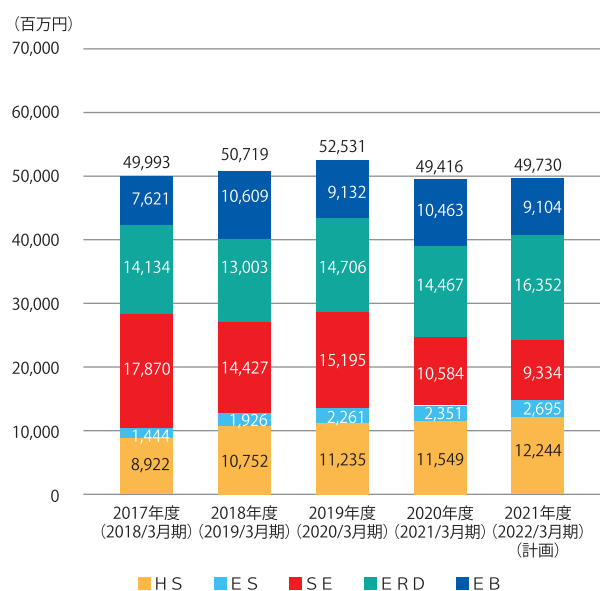
サニックスグループの事業

サニックスグループでは、2019年度～2021年度を対象とする中期経営計画に基づき、環境衛生事業および太陽光発電事業、ならびに環境資源開発(廃棄物リサイクル)事業といった既存の基盤を強化・拡大するとともに、エネルギー関連事業などの新たな取り組みに挑戦し、次なる成長に向けた基盤強化に努めています。

今、環境問題への取り組みは、2015年9月国連サミットにおけるSDGs採択、2015年12月パリ協定の採択など、世界的規模で、重要課題として位置づけられています。日本においても例外ではなく、2018年に更新された環境基本計画やエネルギー基本計画、2050年カーボンニュートラル宣言など、世界の潮流に即した政策が打ち出されています。

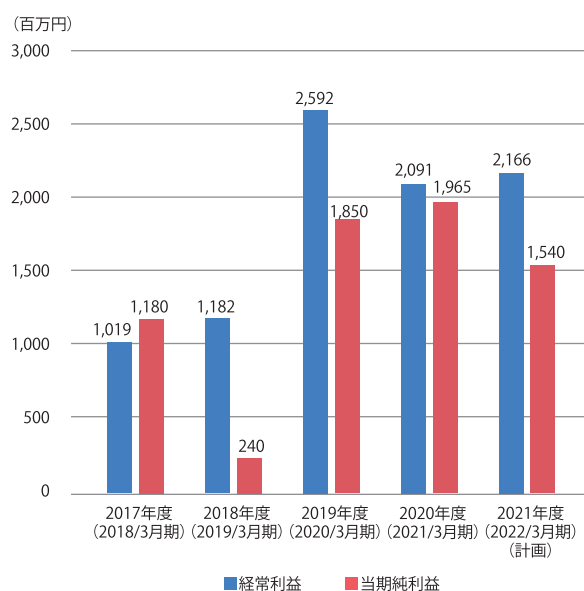
サニックスグループは、長年にわたって、次世代につなぐ環境づくりに取り組んできた企業として、持続可能な社会の実現をリードする企業として成長してまいります。

セグメント別売上高

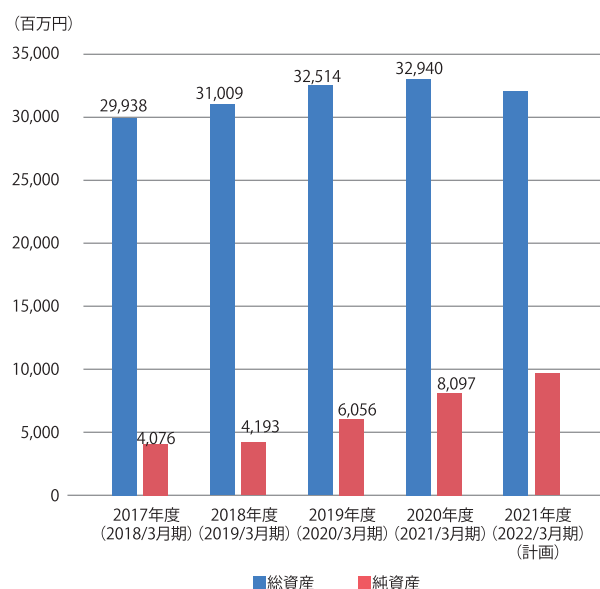


※セグメント間の内部売上調整後の数値を記載しています。

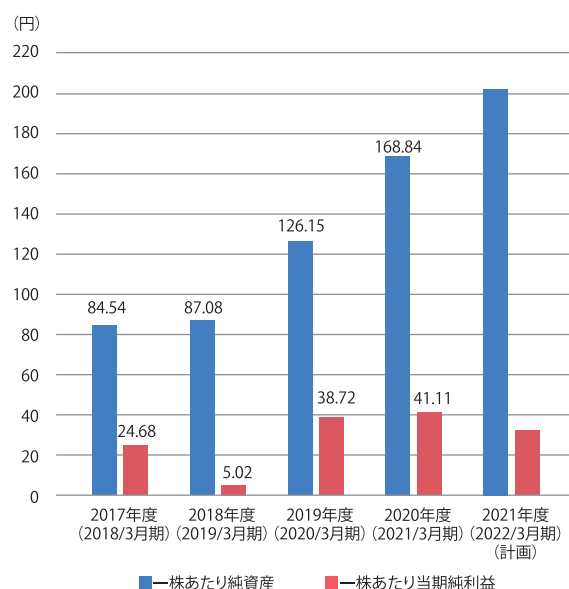
経常利益・当期純利益



総資産・純資産



一株あたり純資産・一株あたり当期純利益



主な事業のご紹介

住環境領域

HS
Home Sanitation

ホーム・サニテーション事業
(戸建て住宅向けサービス)

11 住み続けられるまちづくりを

- シロアリ防除システム
- 床下・天井裏換気システム
- 基礎補修工事
- 家屋補強システム
- 住まいのリフォーム など



ES
Establishment Sanitation

エスタブリッシュメント・サニテーション事業
(法人・事業主向けサービス)

6 安全な水とトイレを世界中に

11 住み続けられるまちづくりを

- ビル・マンションの給排水設備の保全対策
- ビル・マンションの外壁塗装、屋上防水
- 有害生物の防除 (ペストコントロール) など



エネルギー領域


SE
Solar Engineering

ソーラー・エンジニアリング事業
(太陽光発電製造・販売・施工)

7 エネルギーもみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を

- 太陽光発電システム (住宅用・事業用)
- O & M (メンテナンス)
- 蓄電池 など




EB
Energy Business

エネルギー事業
(電力小売・エネルギー事業開発)

7 エネルギーもみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を

- 電力小売 (事業所向け・家庭向け)
- 次世代エネルギーシステムの構築 (分散型エネルギーシステム など)



資源循環領域

ERD
Environmental Resources Development

環境資源開発事業
(廃棄物リサイクル)

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーもみんなにそしてクリーンに

12 つくば責任 つかう責任

14 海の豊かさを守ろう

- 廃プラスチックの燃料化
- 資源循環型発電システム (廃プラスチック再生燃料による発電)
- 廃液の浄化・リサイクル など





サニックスグループの歩み

サニックスグループは、産業として確立したアメリカの環境衛生ビジネスに触れた故 宗政伸一(当社創業者)が、その必要性・将来性を確信し、創業した企業です。シロアリ防除からスタートし、時代のニーズに応えるかたちで、産業廃棄物のリサイクル、太陽光発電事業と、業容を拡大。住宅から都市空間、地球環境へと、事業の対象領域を広げてきました。

私たちが追求する「持続可能な社会づくり」は、いまや、世界の共通認識として、重要視されています。「次世代へ快適な環境を」。大きく広がるフィールドで、サニックスグループは、「環境とエネルギーのトップ企業」として成長します。

事業規模(2021年3月末現在/連結)

売上高(2021年3月期)

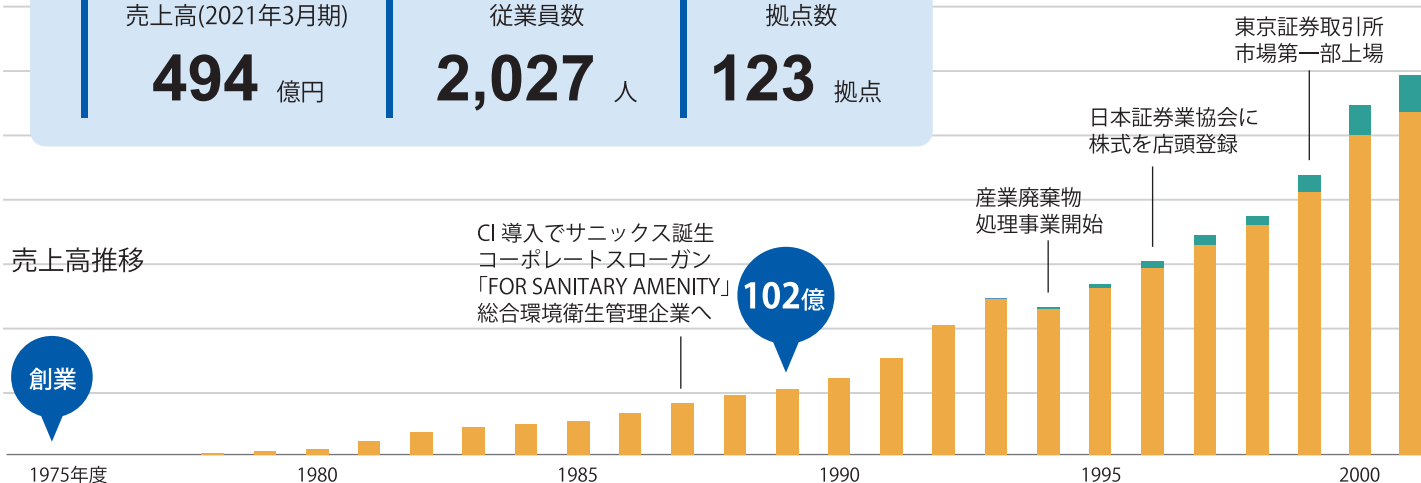
494 億円

従業員数

2,027 人

拠点数

123 拠点



業容拡大のあゆみ

■ 1975年 創業

1975年(昭和50年)
三洋消毒株式会社創業

シロアリが発生してから消毒するのが一般的だった業界において、「予防医学」の考え方を前面に打ち出し、潜在的需要を掘り起こしていった。



1978年(昭和53年)
設立(三洋消毒株式会社)

1981年(昭和56年)
法人向けの環境衛生部門をシロアリ部門と分離

■ 1980年代 消毒業からの脱皮

1982年(昭和57年)
総合研修センター及び研究所開設(福岡県)

「不潔なところを清潔に、汚いところをきれいにする仕事だからこそ、高い使命感と専門知識が求められる」と、古くから社員教育に注力。

1987年(昭和62年)
株式会社サニックス発足

社名を変更し、快適な環境を創造する「トータルサニテーション企業」へ事業を再構築。

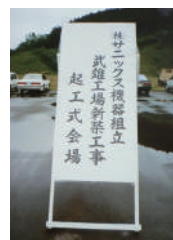


1989年(平成元年)
太陽電池を動力源とする床下換気扇の発売を開始

■ 1990年代 産業廃棄物処理事業を開始し、地球環境を視野に

1991年(平成3年)
機器製造工場を開設(佐賀県武雄市)

お客様のニーズに応える製品づくりに向け、自社工場設置。



1994年(平成6年)
産業廃棄物処理業に進出

法人向けの衛生管理事業において取引先のニーズをつかんだことをきっかけとして、処理工場を新設。「今後は、廃棄物を浄化する静脈産業が重要になる」。

1998年(平成10年)
薬剤製造の武雄B工場設置

100%出資子会社(株)サンエイムが運営。

1999年(平成11年)
廃プラスチックの燃料化事業開始

廃棄物の焼却処理を行う中で、プラスチックの燃焼カロリーの高さに注目。単純焼却・埋め立てされているプラスチックを燃料として再生する事業をスタート。



累計実績 (2021年3月末現在)



シロアリ消毒
施工軒数
約 **810,000**軒



ベストコントロール
施工軒数
(事業所向け害虫・害獣防除)
約 **34,000**軒



給排水管維持管理
施工件数
(防錆機器設置等)
約 **36,000**件



太陽光発電販売・施工件数
(自社施工分)
約 **46,000**件
発電出力で1.3GW超(原発1基分相当)



プラスチック処理量
約 **5,400,000**t
苫小牧発電所 発電量
約 **4,500,000**MWh



廃液処理量
約 **2,300,000**t

住環境領域事業
エネルギー領域事業
資源循環領域事業

コーポレートスローガンを
「for Energy for Environment」に変更。
「環境とエネルギー」の会社へ。

太陽光発電事業
開始

電力小売事業
本格化

494億

2005

2010

2015

2020

■ 2000年代 資源循環型発電事業によりエネルギー分野参入

2000年(平成12年)
有機廃液処理業開始

ロンドン・ダンピング条約による海洋投棄禁止をにらむ。



2001年(平成13年)
サーマルリサイクル運営の
(株)サニックスエネルギー設立

廃プラスチックのリサイクル燃料による火力発電所の建設を開始。運営会社となる、100%出資子会社を設立。

特定規模電気事業者登録

電力事業参入を見据え、全国で8番目の申請。

2003年(平成15年)
サニックスエネルギー苫小牧
発電所竣工

廃プラスチック由来の燃料による発電。以後、課題を一つずつクリアし、ノウハウを積んだ。



2009年(平成21年)
最終処分場運営の
(株)ホクハイ・(株)C&Rを買収

廃プラスチックの燃料化から、発電、焼却灰処分まで。グループ内一貫体制が確立。

太陽光発電事業を開始

太陽光発電の普及拡大に向けて、「いいものをより安く」。

■ 2010年～ 太陽光発電事業が加わり、「環境・エネルギー」企業へ

2010年(平成22年)
(株)北海道サニックス環境を
設立

(株)サニックス苫小牧工場(廃プラスチックの燃料化)を、子会社として分離。

ソーラーパネル製造・販売
の子会社を上海市に設立

善日(上海)能源科技有限公司(100%出資子会社)。ソーラーパネルの自社生産を開始し、製造から販売、施工、メンテナンスまで、一貫体制を確立。



2014年(平成26年)
電力小売を行う、(株)SEウ
イングズを設立

2015年(平成27年)
登録電気小売事業者登録

2016年(平成28年)
電力小売事業に本格参入

電力小売完全自由化を受け、(株)サニックス本体での電力小売事業を本格化。

2017年(平成29年)～
VPP構築実証事業に参画

2017年以降、毎年、経済産業省「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業」参画(以降毎年)。

2019年(令和元年)
三菱自動車工業(株)と、エネ
ルギーサービス販売で提携

サニックスでんき「電動DRIVE HOUSE」プランを販売開始。